

I 協働推進会議の在り方について

- ◎ 平成28年9月20日開催の第1回推進会議について
 - 太田市長は挨拶で『推進会議が、本市の状況に即した町づくりを具体的に推進してほしい』と述べています。
 - 勝又は席上『市民に協働を理解してもらおう』『本会議が主体となって具体的な事業を推進しよう』と発言。
- ◎ これまでの会の3年間の活動は、市民提案型事業の審査が主体でした。このため、「市民に協働を理解させる活動の不足」「会が率先して協働を推進する役割は果たしていない」と断言できます。
- ◎ 私の提言『会は市民が協働を理解・実践するために、会が市民に対し率先して具体的な活動を計画・実践することにした』と思います。

II 協働の定義について

- ◎ 市民協働指針による協働の定義『地域におけるさまざまな課題を共有し、「自分ごと」として捉えつつ、一緒に知恵を絞り、できることを持ち寄りながら、その解決にむけて連携・協力して取り組んでいくこと。』
- ◎ 指針による定義を理解している市民はほんの一部とされます。もっと、市民に判りやすい定義とすべきです。
- ◎ 私の提言する定義『つくろう、新しい匠磋！』

III 市民協働サポートセンターについて

- ◎ 真に市民活動をサポートするセンターをめざすこととして次を提言します。
 - 市民に親しまれる場所に設置、センター所長を任命してスタッフを揃える。名称は「市民よろず相談所」と改称して協働以外の相談も引き受けます。
 - 地区懇親会等を企画して市民の要望を聞いて新しい匠磋づくりの実現をめざします。

IV 2回開催した検討会の活動への反映について

- ◎ 結論は出さないとの会議でしたが、出席者からは「市長のリーダーシップの発揮」「会としての協働事業の具体的な構想」が論議されました。しかしこのことに関し以後の動きはありません。
- ◎ 上記の議論を踏まえ「市長の会への出席をもとめ、市長が考える匝瑳市として協働で推進してほしいこと」を提起してほしいと思います。

V 私の提言する推進会議として企画・実践する協働事業

- ◎ 「新しい匝瑳づくり市民大集会」を開催して市民・各級機関役員に参加を呼び掛け、協働に対する理解・実践をめざすことにします。
- ◎ 検討会で提案された市を代表する施設の飯高檀林跡を利用した観光振興の取り組みやボランティア活動への参画を求める協働事業構想を計画し実践したいと思います。

VI 協働の町匝瑳づくり

市長を先頭に市民みんなで市民協働事業に取り組み『協働の町匝瑳』としてPRできるような匝瑳をつくりたいと思います。